

2015.10.09 例会 <黒岩会長挨拶>

皆様こんばんは！今日は創立の頃から会友として大変にお世話になって来ました「今井忠委員長」卓話をやって頂きます。宜しく願い致します。そして嬉しい事に今週も新会員「流郷薫」さんの入会式がございます。

私はギターが好きですが、その生い立ちを少しお話させて頂きたいと思います。

始まりは6才幼稚園の頃、音楽に理解のあった母の薦めで、赤いバイエルを持ってオルガンを習いに行きました。「蝶々」です。

中学2年の時、数学塾の先生が「今度の間テストで皆が90点以上をとったら夢をかなえてやる」と言い出しまして、10人位の男女生徒は、みな頑張って全員が90点以上を獲得しました。成績優秀な女の子が「エレキの若大将を観に連れって」と言い先生は「わかった」と週末、全員で行き、「加山雄三」と「星由里子」のラブシーンや「君といつまでも」「夜空の星」等の歌や演奏を堪能し、夢見心地で帰って来ました。その加山雄三が弾いた「エレキギター」は、町一番のデパートに天井から吊るして飾ってありました。

高校1年になり、クラシックギターが弾く同級生が「月の砂漠」を私に弾き歌ってくれ、まさに天才だと思いました。手ほどきを受け練習しますと2週間くらいで私も弾けるようになりました。そうするとその友人は「ナルシーソ・イエペス」の「禁じられた遊び」を聞かせてくれ、ロマンチックで起伏があり、まさに彼は天才だと思いました。3ヶ月ほど練習すると私も一応弾けるようになりました。同じ頃、音楽の授業で「禁じられた遊び」を全員ピアノで弾き発表することになり、それを口実に帰校時「可愛い女の子の家」に毎日通い教えてもらい、男子生徒では只一人無事弾き、涙が出るほど喝采を受けました。

その後私は、その子に「エリーゼのために」を教わりましたが、のりが悪く挫折しました。3拍子の曲だったのに、私は4拍子で理解していたのです。それが分かったのはそれから30年も経ってからのことでした。

大学の音楽部(長洲剛・岩切みきよし等は後輩です)に入り、エレキバンドを組み、順調にレパートリー構成が進んでいるうちに「寺内タケシのレッツゴー運命」に取り組むことになりましたが、リードギターの私だけ弾くことが出来ず1年間辛い思いをしました。1年間毎日8時間以上同じことを密かに自宅で練習して、ある日突然やっとなんか弾けるようになりました。その日以来、難曲はあるけど、時間をかけて練習すれば何でも出来るし、天才にも近づくことが出来るのだと確信いたしました。

上京してバンドのメンバーは変わりましたが、今のバンドは約20年維持しておりまして、時折趣味を謳歌しています。

(終わり)